

令和5年度 学校経営方針

町田市立南第四小学校長 貝原 俊明

1 教育目標

- 深く学ぶ子供
- 共に高めあう子供
- 活力のある子供

2 経営方針

【人権尊重教育の推進】

一人一人の子供と向き合った指導の実践を行っていきます。毎月実施している心のアンケートや日々の児童の様子から、気になった様子やいじめが見られた場合には声を掛け、迅速に対応してまいります。呼称は「くん、さん」付けで呼び、子供同士も同様に行うように指導します。教員の指導に関しても不適切な指導が行われないように注意を払ってまいります。

【コロナ対応】

7日に配布したプリントに書かせていただいておりますが、昨年度まで三年間続いた、コロナ対応も2類から5類に変更されることになり、これまでの感染防止第一からアフターコロナへの生活様式に変わります。マスク無しの生活に戻りつつありますが日本人の感染防止意識が高くなっていることから、各家庭の考え方によって対応も様々になると思います。学校では、手洗いやうがいなど、その他の疾病の罹患防止にも心掛けた指導を行ってまいります。

【学習について】

学習指導要領では、3つの資質・能力（知識及び技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養）をバランスよく育むことが示されています。さらに授業においては、主体的・対話的で深い学びとなることを求めています。

一人一人が主体的に授業に取り組むためには、教師の発問に対して「自分の考えを書く」ことが大事と考えます。文章を書く際には、文のつながりについて考えるなど、脳を活発に働かせます。他人の発言を聞いて考えるよりも自分の考えを持つことにより、授業へ参加意欲も異なります。ゆえに各授業では自身で書いたことをもとに話し合い、考えを深めていく対話的な学習を進めてまいります。一人一台のタブレットが配布され、様々な教科で活用しています。このタブレットにも書き込みができます。自分の考えを書き込み、クラスの他の友達の考えを同時に共有できるのです。ただ、東大の研究チームが脳の働きについて調べたところ、紙に書き込むこととタブレットやスマートフォンに書き込む実験を比較すると、紙に書き込む方が記憶の定着で優位だったということです。タブレットを使わない場合には、ノートに書く活動に力を入れて指導したいと思います。

音楽や家庭科も制限が多くありましたが、間隔をあけるなどの工夫を取り入れてコロナ前の授業を展開してまいります。今後はインターネット依存やネットリテラシーの問題も考えられます。フィルター機能は設定していらっしゃると思いますが、家庭における監督の目は必要となると思います。よろしく願いいたします。

【研究活動について】

今年度は体力向上と健康教育について進めてまいります。学力の向上を図る上で集中力や忍耐力は重要な要素であり、それらを支える上で大切なことは体力であると考えます。体を動かす楽しさを味わわせることにより「できる」喜びを増やし、体力向上につなげたいと思います。また人生100年時代を迎え、小学生期は、基本的な生活習慣を身に付ける上で大切な時期です。ゲームなどのメディア機器が溢れている時代において、体を動かし、健康な生活を送ることは成長にも良い影響を与えると考えます。ゆえに体力向上だけでなく健康教育も視野に入れて取り組んでまいります。

家庭へのお願い

- 子供が学校で心穏やかに授業を受けられる環境をお願いします。
- 早寝、早起き、朝ご飯の習慣づけをお願いします。
- 家でも挨拶の習慣がつくようにお声掛けください。
- 言葉遣いについての指導にご協力ください。
- 体罰は効果がありません。誉めて、自尊感情を高めてあげてください。
- お子さんの前で担任の批判や悪口等はなさないようにお願いします。
- 心配事がありましたら、担任までご連絡ください。